

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況などを
短くまとめて紹介します



シンガポール事務所

ジョホール盆踊りに参加しました

2024年7月19日から21日にかけて、マレーシアのジョホール州で開催されたジョホール盆踊り 2024 (Johor Bon Odori 2024) に出展しました。このイベントは、マレーシア元留学生協会 (JAGAM) 南支部の主催で開催されたものです。会場の中心に設置されたステージでは、日本から招待された団体や現地の日本人学校の生徒たちが踊りを披露したほか、マグロ解体ショーや餅つき大会なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

また、会場内には日本食やアニメに関するブースが200店舗以上設けられ、クレアシンガポール事務所のブースでは、職員の派遣元をはじめとする日本の地方自治体の観光パンフレットを配布して各地域の魅力をPRしたほか、折り紙やけん玉などの日本文化を紹介しました。ブースを訪れた来場者からは、「温泉を満喫できる地方へ行ってみたい」「本州でスノーアクティビティを体験できるエリアを教えてください」といった要望が多く寄せられ、日本への関心の高さがうかがえました。



会場の様子



クレアシンガポール事務所のブース



シドニー事務所

鹿児島市とパース市の姉妹都市提携 50 周年式典が開かれました！

2024年7月22日、西オーストラリア州の州都パース市で、姉妹都市である鹿児島市との姉妹都市 50 周年を記念する式典が開催されました。クレアシドニー事務所も式典に参加し、鹿児島市からの姉妹都市盟約 50 周年記念訪問団やパース市民とともに、この重要な節目を祝いました。

「City of Light (ひかりの街)」として知られる南緯 32 度のパース市と、「太陽とみどりの街」として親しまれる北緯 32 度の鹿児島市は、緯度 32 度に位置するという共通したつながりから、民間団体同士の親善訪問を契機として、交流を開始しました。その後、カンガルーと日本猿の交換など、両市における友好ムードが高まる中、1974年4月23日に、鹿児島市で正式に姉妹都市提携しました。

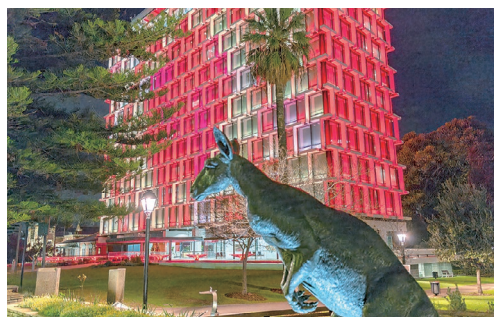
姉妹都市提携から 50 年、両市は教育交流や文化交流を通じて強い絆を築いてきました。現在でも、鹿児島市が実施する「青少年の翼」事業を通じて高校生をパース市に派遣したり、市立鹿児島玉龍高校がパース市にある姉妹校マター・デイ・カレッジから高校生を受け入れたりするなど、相互の交流が続いています。

今回の式典では、下鶴隆央市長とゼンピラス市長をはじめとした両市の代表者が、教育やビジネス分野における交流の重要性を改めて確認し、今後も両市が協力し合い、両市のさらなる発展につなげることを誓いました。

クレアシドニー事務所は、今後も鹿児島市とパース市の姉妹都市交流が未来にわたって継続することを願い、日本とオーストラリアの文化交流の推進に尽力してまいります。



両市長と「青少年の翼」参加者の記念写真 (©City of Perth)



姉妹都市締結 50 周年を祝い、日の丸にライトアップされたパース市庁舎 (©City of Perth)



パリ事務所

6人の新規 JET 参加者が決定！壮行会が開かれました！

2024年8月からJETプログラム（語学指導等を行う青年招致事業）にて国際交流員（CIR）として勤務する6人の新規JET参加者が決定し、7月10日に在仏日本大使公邸で出発前の壮行会が開かれました。

今年は、数十人の応募者の中から特に優れた6人が選ばれ、うち3人は英語CIRとして勤務します。例年、非常にハイレベルな選考が行われていますが、特に近年は、高い言語能力を生かして、フランス語圏に限らない活躍が期待されています。

壮行会では、来賓からの激励のあいさつや記念撮影の後、会食が開かれ、新規JET参加者は日仏の団体代表やJETAA（元JET参加者の会）のメンバーと交流しました。

京都府に配属されるギートン・アドリアンさんは「13年間、演劇に関わるさまざまな仕事をしてきて、いろいろな人脉があります。それを生かして日本とフランスとの間で芸術文化に関する連携を行いたいです」と抱負を語りました。また、福井県に英語CIRとして任用されるクララ・ターンランさんは、「いろいろな言語を使って働くのが夢でした。JETプログラムでも能力を生かしたいです」と、期待を膨らませていました。



記念写真



大使らと談笑するJET参加者たち



ニューヨーク事務所

JETAA カナダ地域会議（CanCon）に参加しました

2024年8月9日から11日にかけて、ブリティッシュコロンビア州バンクーバーにおいてJETAA（元JET参加者の会）カナダ地域会議が開催され、クレアニューヨーク事務所からも職員が参加しました。

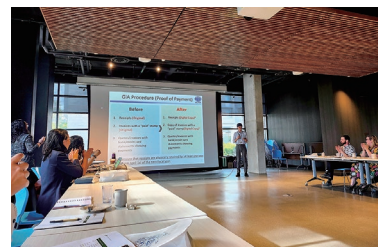
今回の会議には、カナダ国内のJETAA 7支部の代表などが参加し、各支部の活動内容や課題の共有、今後さらに活発に活動を続けていくための工夫などについて議論が交わされました。クレアニューヨーク事務所は、各支部の活動を支援する助成金の運用手法の改善や事務所の活動内容について報告を行いました。

過去にはオンライン開催が続いたこともありましたが、関係者が一堂に会し、活発な意見交換が実施されている様子を見て、対面で本会議を開催することの重要性を改めて感じました。

また、プログラムの一環として、日系文化センター・博物館を訪問し、日系カナダ人の歴史や文化について理解を深める機会も得、非常に充実した行程となりました。クレアニューヨーク事務所では、今後もJETAAとの連携を強化してまいります。



参加者の集合写真



本会議内で報告をするクレアニューヨーク事務所職員



ロンドン事務所

日本文化イベント「ハイパー ジャパン フェスティバル 2024」にて、地域の魅力を発信

2024年7月19日から21日にかけて、英国最大級の日本文化イベント「ハイパー ジャパン フェスティバル 2024」が開催されました。

期間中は、練りきりや万華鏡づくりなどの体験ワークショップが行われたり、日本食などを楽しむことのできるエリアが設けられただけでなく、さまざまなライブパフォーマンスも行われ、前年度を30%上回る約3万2,000人の来場者を記録しました。クレアロンドン事務所もブースを出展し、地方自治体のポスターやパンフレットを活用して、全国各地の魅力を発信しました。

「東京や京都、大阪に行ったことがある。次は別のエリアで違う体験がしてみたい」と話す来場者が多く、資料を眺めたり職員に質問をしたりと、熱心に情報収集の様子が見られました。なかには「日本全国を巡りたい」と、用意した全てのパンフレットを持ち帰る人もおり、日本への関心の高さを目の当たりにしました。

また、ブースでは、来場者の名前を書道で書くパフォーマンスも行いました。行列ができるほど盛況で、子どもから大人まで書道の筆運びを真剣に見つめる姿が印象的でした。



クレアブースの様子



来場者とのコミュニケーション



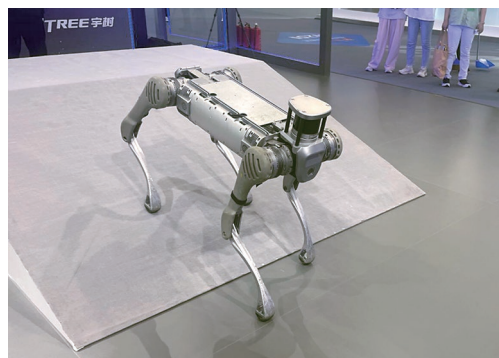
北京事務所

「世界インテリジェンス博覧会」に参加しました

2024年6月20日、天津市で開催された「世界インテリジェンス博覧会」にクレア北京事務所職員が参加しました。広大な会場には、軽快に階段や坂を乗り越える4脚歩行ロボットや、自動運用型ドローンなど最先端技術が搭載された製品が展示されており、中国国内の400社以上の企業のほか、大学などの研究機関や天津市や重慶市などの地方政府も出展していました。

一般的に、人工知能などの最先端技術は都市部を中心に普及していくことが多いですが、中国では地方政府の積極的な対応により、農村地域でも活用が図られています。各地方の農業や工業に人工知能の技術を活用することで、新興企業が多く出現しており、国際競争力の向上につながっています。

さまざまな分野に技術を応用できるのが人工知能技術であり、広い国土で幅広い分野の産業を営んでいる中国は、この技術を発展させる最適な地域と言えるかもしれません。



展示された4脚歩行ロボット



ソウル事務所

インターン生の受け入れ

クレアソウル事務所では毎年、日本語を学ぶ韓国人の大学生をインターン生として受け入れています。2024年度も8月の1カ月間、2人のインターン生を受け入れました。

受け入れ期間中、インターン生は、クレアレポートに関する情報収集や来韓した日本の自治体の活動支援など、さまざまな業務を体験しました。SNS記事の翻訳業務では、日本語をどのように翻訳すればよいか苦労している場面も見られましたが、職員に積極的に質問することで乗り越える姿が印象的でした。最終的には、わかりやすい表現を使った素晴らしい記事が完成し、当事務所としても大変助かりました。

これから就職活動を控えるインターン生ですが、クレアソウル事務所での経験が少しでも役に立ち、これからの2人の活躍が日韓の交流を一層促進することにつながれば、こんなに嬉しいことはありません。

ガヨンさん、ジュヒョンさん、短い間でしたが、大変お疲れ様でした！



1カ月の勤務を終えたインターン生と一緒に



JETプログラム事業部

「2024年度7・8月来日直後オリエンテーション」で参加者にインタビューしました！

新規JET参加者が出席する来日直後のオリエンテーションである「2024年度7・8月来日直後オリエンテーション」の交流会が開催され、約1,850人の新規JET参加者が集いました。この交流会にて、当部にインターンシップとして参加していた学生が参加者にインタビューを行いました。さまざまな思いを抱きながらJETプログラム（語学指導等を行う青年招致事業）に参加した人の声の一部をお届けします。

沖縄県に赴任するアメリカ国籍のALT（外国語指導助手）は、両親の一方が沖縄出身のため、自身のルーツを知りたいと思い参加したそうです。在任中は、コミュニケーションをたくさん取って周囲と交流し、将来はアメリカで日本語教師をしたいと答えてくれました。

新潟県の自治体に任用されるインドネシア国籍のSEA（スポーツ国際交流員）は、以前にSEAとして参加した際の活動が楽しかったため2度目の参加を志したそうです。任務を通して、バドミントンの技術向上に貢献し、将来は自国のJETAA（元JET参加者の会）支部で、経験やスキルを共有したいとのことでした。

北海道、青森県、山形県、石川県の各道県に赴くベルギー国籍のCIR（国際交流員）4人に参加理由を尋ねたところ、日本とベルギーの架け橋になりたいと思った、また、国際交流に興味があるからとのことでした。在任中は、日本語能力を向上させたい、人として成長したいなどの目標を持っているそうです。将来は、イベントを開催し、両国の文化交流を促進したいとの夢も語ってくれました。

皆さんのJETプログラムでの経験が充実したものとなるよう願っています！



JET事業部インターン生が参加者にインタビューする様子

多文化共生課

多文化共生ツールライブラリーを ぜひご活用ください！

クレア多文化共生課では、自治体や地域国際化協会などが作成した多文化共生に関するツールを、ホームページ上で公開しています。外国人住民向けの多言語生活ガイドブックや、複数の言語に翻訳された防災ガイドをはじめ、やさしい日本語や教育関連のツールなど多様な内容が掲載されています。分野別検索やキーワード検索機能を使うことで、簡単に目的のものを見つけることができますので、ぜひご活用ください。

また、新たに多文化共生に関するツールを作成された際には、当ライブラリーへの掲載をご検討ください。ツールをご提供いただける場合は、提供様式をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、多文化共生課のメールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。皆さまのご提供をお待ちしております。

【ツールライブラリー URL】

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/

【お問い合わせ】多文化共生課

Tel : 03-5213-1725 Mail : tabunka@clair.or.jp



市民国際プラザ

国際協力推進セミナー

「国際協力の架け橋～自治体、地域、NGO/ NPO との協働の未来」を開催しました！

2024年7月30日に、国際協力推進セミナー「国際協力の架け橋～自治体、地域、NGO/NPO との協働の未来」を開催し、全国の自治体、国際交流協会、NGO、NPO など110人が参加しました。

(公財)PHD 協会坂西卓郎氏による話題提供「PHD 協会の国際協力、国際交流、多文化共生」の後、クレアの国際協力促進事業の中から、事例として①自治体を挙げて国際協力に取り組む北九州市のベトナム支援、②土幌町とキルギスで農業を学ぶ高校生の交流から商品開発に発展した事例、③神石高原町とピースウィンズ・ジャパンの連携による農業人材育成や交流について紹介がありました。水道技術による防災減災、農業や商品開発による相互交流、人材育成など分野はさまざまでしたが、地域の強みを生かした国際協力や多様な主体による連携の意義・重要性が示唆されました。後日報告書も掲載しますのでご覧ください。

<http://www.plaza-clair.jp/>



セミナーの様子

交流親善課

2025 年度国際交流支援事業の助成団体を募集しています！

クレアでは、地方自治体や地域国際化協会が主体的に行う国際交流事業のうち、交流の拡大や発展が見込まれ、地域住民らの幅広い参画が見込まれる事業に、対象経費の一部を助成しています。原則として新規事業が助成の対象ですが、継続的に行われている事業であっても、他の自治体や地域国際化協会のモデルとなるような先駆的な事業であれば対象となります。

【対象団体】都道府県、市区町村、地域国際化協会

【助成金額】助成対象経費の1/2以内、上限は以下の金額

海外で行う事業・・・500万円 国内で行う事業・・・300万円

【本事業の詳細】申請締切：2024年10月31日(木)

<https://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/page-5.html>

【お問い合わせ】交流親善課 Tel : 03-5213-1723 Mail : koushin@clair.or.jp



経済交流課

2025 年度経済活動助成事業の募集を開始しています！

クレアでは、経済交流に取り組む自治体の裾野の拡大を目指すため、自治体が海外販路開拓または海外観光客の誘致に関して実施する事業のうち、事業実施により将来的に経済効果が見込まれ、他の自治体の取り組みの参考になることが見込まれる事業に対して助成を行っています。2025年度事業の募集を8月から開始しています。クレアホームページに詳細や申請様式、2024年度の採択事業一覧、2023年度までの採択事業報告書を掲載していますので、ぜひご覧ください。

皆様からのご応募をお待ちしています。

【ホームページ】<http://economy.clair.or.jp/activity/grant/>

【申請期限】10月31日(木) ※郵送・メール必着

【お問い合わせ】経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



2023年度採択事業例 東京都台東区「東南アジアで行う海外販路支援事業」テスト販売会オープニングセレモニーの様子
(東京都台東区 提供)